

校長室だより

No. 1

平成 27 年 4 月 10 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

ごあいさつ

平成 26 年度末の人事異動により、岡崎市立六ツ美中部小学校の校長に着任いたしました加藤嘉一（かとうよしかず）です。

これまで、岡崎の岩津中、六ツ美南部小、愛教大附属小、豊橋市教委、文科省初等中等教育局教育課程課、岡崎市教委で勤務をしました。小学校・中学校の勤務はほぼ半々で、これで少し小学校勤務が多くなります。授業は、小学校 1 年生から 6 年生、中学校の 1 年生から 3 年生までと特別支援学級の経験もあります。

赴任し、すぐに地域の方々とお会いする機会が幾度かありましたが、初対面の私にどなたもが温かく接してくださり、大変感激しました。また、お子さんが通っていない方々でも、「学校・子供のために協力するからね」とたくさん声をかけてくださり、これも大感激でした。六ツ美中部小学校に赴任が決まり、周りの方々から「いい学校へ行くね」と声をかけられたわけです。微力ではありますが、子供の幸せのために精一杯頑張ります。よろしく願いいたします。

校長室だより

「学校づくりを進めるには、何をしていくべきか」辞令をいただいてからの私の課題でした。これまでの先輩方が築いてきた教育のさらなる「充実」と新たな「創造」を進めていくことが私の使命です。また、私の考えが独りよがりなものであってよいものではなく、御家庭のお考えや思いを受け止めながら、未来を生き抜く子供のために、目指すべき教育の方向について、御家庭に示していく必要があります。そこで、校長室だよりを発刊することにしました。



「強く やさしく」この言葉は、著名人が座右の銘を上げていた本で見つけ

た言葉で、いつまでも自分の心に優しく残ったものでした。私が担任をもって
いた最後の数年は、級訓とし学級通信のタイトルにもしていた言葉です。

知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指すのが学校です。(本校は、「誠」
の精神を支柱にし、「べんきょうがだいすきな子」「うんどうがだいすきな子」
「ちゅうぶがだいすきな子」を教育目標に掲げています)「知・徳・体の調和
のとれた人」を私の価値観で別の言葉に換えるとすると、「強く やさしく」
生きる人だと思ふのです。子供たちに対しても、一人の人としてもこうありた
いと考えます。この言葉を校長室だよりのタイトルにしました。この校長室だ
よりを通して、皆様と六ツ美中部小学校の教育を考えていきたいと思ひます。



入学式の式辞でお話したこと

入学式の式辞で、3つのお願いを
しました。2年生から6年生に向け
ての始業式式辞では、「あいさつ(徳)」
「学び方(知)」「健康な体(体)」で話
をしましたが、新入生は以下のとお
りです。

◎あいさつのしっかりできる子になりましょう。

「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「ごめ
んなさい」「さようなら」あいさつはたくさんありますね。あいさつは、
みんなから好かれるようにする魔法の言葉です。

◎交通安全に気をつけましょう。

学校の行き帰りも家から遊びに行くときも、飛び出しは絶対にせず、
車や自転車に気をつけてください。こつは、目と耳を働かせることです。

◎健康な体作りをしましょう。

ご飯をきちんと食べ、よく運動し、よく寝ることです。健康な体は自
分のいちばんの宝物になり、心と頭に栄養を送ります。

今後楽しい生活を送る上で、基盤となる大切な3つだと考えています。学校
は、全教育活動を通して子供に身につけさせていきますが、学校だけではでき
ない部分もあります。ぜひとも御家庭でも御協力をお願いしたいと思ひます。